

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査動画撮影要領

【動画映像のイメージ】



《撮影ルール》

- ・平成28年4月1日以降に撮影されたもので、3分以内の動画とすること。
※ 提出する動画ファイル自体の長さを3分以内とすること。すなわち、演技前の余韻や紹介、演技後の余韻時間等があれば、それらも全て含めて、3分以内とすること。
※ ルールに沿った撮影とすることため、予選審査専用撮影が望ましい。
- ・画面は、横縦比を16:9とすること。(4:3ではない)
- ・全てのセリフや歌詞に対応する字幕を入れること。
- ・演技者及び手話がよく見えるよう明度を確保すること。
- ・演技者の全身を表示させること。ただし、前後の列となる場合の後列の演技者や着席している場合は、少なくとも上半身(腰より上)を表示させることも認めるが、その場合であっても、なるべく全身を表示させるよう務めること。
- ・演技者の正面でカメラを固定して撮影すること。演技中、ズームやワイド等の倍率の変更及びカメラを移動させて撮影することは不可とする。
- ・予選審査においては、背景による演出は不可とする。ただし、演技の構成上、映像や写真等が必要な場合にスクリーン等を使用することは認める。(例:観光地の紹介に写真を投影する、パワーポイントの説明をする 等)
- ・動画のファイル形式はAVI,MPEG,MP4,WMV のいずれかとし、解像度は720px×480px 以上、1920px×1080px以内とすること。
- ・DVDディスクに動画ファイルを保存して提出すること。

【字幕の補足事項】

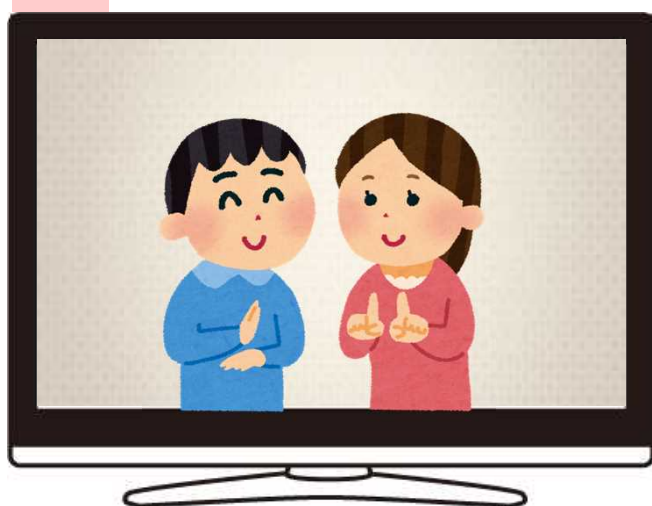
- ・字幕は、概ね下から縦1/6以下、横は左右1/8以上を空けたスペースに表示させること。
- ・見やすい大きな文字とすること。
- ・フォントはゴシック体、色は白文字を基本とすること。(ただし、背景が白い場合、枠が黒い白抜き文字か、灰色等文字色とすること。)
- ・セリフ(歌)のタイミングに対応させた字幕(歌詞)を表示させること。
- ・字幕は停止(固定)画像とし、セリフのタイミングに合わせて、一定時間、表示させること。

《撮影の見本》

- 正面にカメラを固定して撮影してください。（ズームやワイドは不可。）
- 出演者全員の全身を表示させましょう！
⇒ 舞台上で演技している生徒をカメラを通して見ているようなイメージで撮影してください。
- 手話が見やすいようできる限り人物を大きく撮影してください。



✕ 全身を表示させましょう！



撮影方法や字幕の入れ方、その他
ご不明な点ありましたら、以下まで
お気軽にお問合せください！

【問合せ先】大会実行委員会事務局
電話：0857-26-7682
ファクシミリ：0857-26-8136
メールアドレス：s-koushien@pref.tottori.jp

